

「だれ!?...誰なの。」

いつかどこかで
出逢うはずの彼に、
会ってしまった。

原田 知世
(第一回主演)

高柳 良一
尾美としのり
根岸 季衣
岸部 一徳
津田 ゆかり
きたむらあきこ
入江 若葉

(特別出演)
入江 たか子
上原 謙

製作 / 角川 春樹
原作 / 筒井 康隆
(角川文庫版)
監督 / 大林 宣彦

脚本 / 剣持 亘
潤色 / 大林 宣彦
プロデューサー / 山田 順彦
大林 恭子

撮影監督 / 阪本 善尚 (J.S.C.)
音楽監督 / 松任谷 正隆
主題歌 / 作詞作曲 松任谷 由実
唄 原田 知世 (キニオンレコード)
製作 / 角川 春樹事務所
製作協力 / P.S.C.
配給 / 東映



愛の予感のジュブナイル

時をかける少女

時をかける少女

映画が始まる前に

■大林宣彦

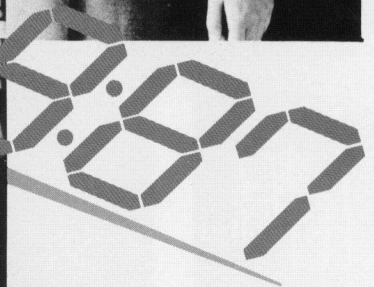
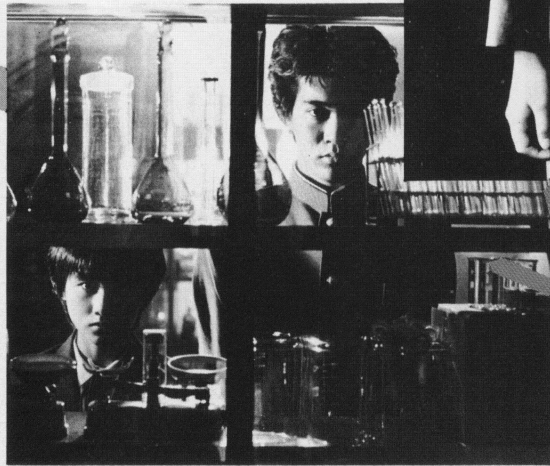
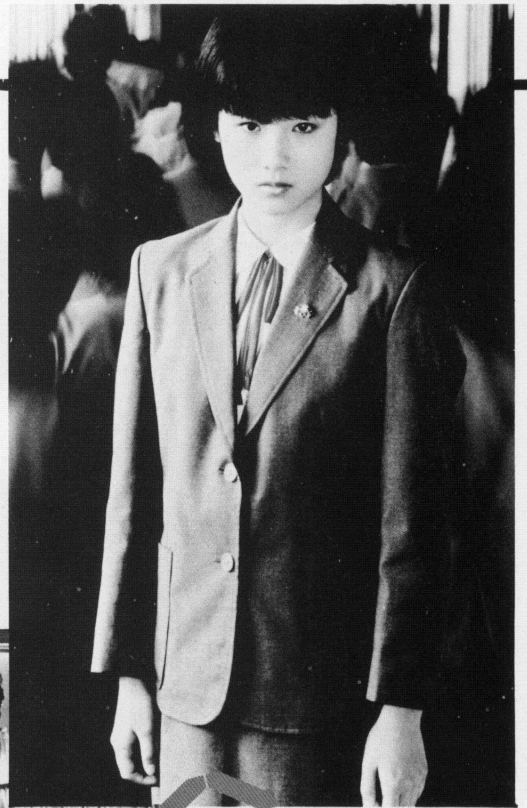
ムービーカメラのファインダーの中では、何年かに一度、奇蹟が起ります。

なんでもない、ごく普通のひとりの少女が、映画のレンズを通して見たとき、突然、かけがえない、大切な宝石のように、いとおしく、きらめき始めるのです。それはやがて映画自身の輝やかともなり、映画の神話と伝統とは、こうして長い歴史の中で、豊かに紡ぎ出されていくことになるのです。

それは、スター誕生の瞬間です。原田知世は、いまこの瞬間、映画のスクリーンの伝説の中に、このようにして生まれ出たのです。心のとぎめきの中で、映画が始まる。

——ひとが、現実よりも、理想の愛を知ったとき、それは、ひとにとって、幸福なのだろうか？……不幸なのだろうか？……

これは、この映画の撮影台本の第一頁に、ぼくが書き記した言葉です。ですから、これ



は、愛についての映画です。

ひとはいつでも、愛にあこがれ、愛を求め、愛の中でさまよいます。永遠に結論のないこの主題の中で、真摯に、ひたむきに、とめどなくゆらめく、少女の心模様をそのままに、たおやかにこそ演じきった原田知世の姿を通して、どうかみなさんも、あなた自身の胸の中にひそむ、真実の愛のかたちをさがしてください。

ある日突然、時間を超える能力を持ってしまった少女が経験する不思議な出来事と初恋、「時をかける少女」は筒井康隆の同名小説を映像化したファンタジックな愛の物語。

監督には、大林宣彦。愛の子感、をテーマに多感な少女の揺れ動く心をしつとりとした映像で綴っている。

不思議な体験をするヒロイン、高校生の和子役に、原田知世。昨年、TV「セーラー服と機関銃」でデビューし、続いて「ねらわれた学園」に主演、その新鮮な魅力でまたたく間にヤングのハートをつかみ人気急上昇。この作品で待望のスクリーン・デビューとなる。彼女のセンスの良さはTVで実証済みだが、今回の映画初主演での成長は目をみはるものがあり、女優としての素質の豊かさをみせている。

そして、知世には映画公開のすぐ後にミュージカル初挑戦（「あしながおじさん」）があり、主演映画第2作も「あしながおじさん」をモチーフにした赤川次郎のオリジナル小説を原作に角川春樹が演出することが決まっている。（84年春、クランク・イン、夏・ロードショー公開予定）無限の可能性を秘めてキラメキのなかへ翔く知世。知世は今、青春一年生。